

次期戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の在り方検討会の設置について

令和 8 年 7 月 23 日
内閣府科学技術・イノベーション推進事務局**1 設置目的**

次期 SIP の課題設定に向け、「豊かで安全・安心な社会」及び「一人ひとりが多様な Well-being を実現できる社会」の実現を目指し、次期 SIP における基本的な枠組みを検討するとともに、ターゲットとすべき領域について提言を行うことを目的とする。

戦略的イノベーション創造プログラム運用指針（最終改定：令和 6 年 10 月 17 日）においては、SIP の推進上必要な詳細事項について、内閣府が定めることとしている。このため、本年度内に実施予定の課題候補の選定等に向けた集中的な検討を行うため、ガバニングボードの下に本検討会を設置する。

2 検討事項

- (1) 我が国が中長期で実現を目指す未来像・社会課題
 - ・第 7 期科学技術・イノベーション基本計画のコンセプト
 - ・我が国や世界を取り巻く社会課題 など
- (2) 次期 SIP のターゲット領域の検討
 - ・次期 SIP のターゲット領域選定にあたっての考慮要素
 - －次期 SIP の目的
 - －日本成長戦略における戦略 17 分野との関係性
 - －国家安全保障との有機的連携 など
- (3) SIP の基本的な枠組み
 - ・次期 SIP の社会実装類型
 - ・SIP 終了後の接続設計
 - ・予算配分方法 など

3 メンバー

- ・アカデミア、産業界、CSTI 等の有識者
- ・事務局（内閣府科学技術・イノベーション推進事務局 SIP/BRIDGE 総括担当）

4 スケジュール

- 令和 8 年 9 月 第 1 回
- 令和 8 年 10 月 第 2 回
- (令和 8 年 11 月 ガバニングボードでの中間報告)
- 令和 8 年 11 月 第 3 回 取りまとめ
- (令和 8 年 12 月 ガバニングボードでの課題候補の選定)